

【保健センターだより 2023 秋・冬号】

「かかるとつらいインフルエンザ」

インフルエンザの感染症対策について

保健センター学校医/産業医

暑く長い夏の後、急に寒くなりました。皆様、体調管理に気を遣ってみえるかと思います。

新型コロナウイルス感染症の感染症分類が第5類に引き下げ後、様々な感染症の流行が広がりをみせています。その理由としては、新型コロナウイルス感染症対策を厳しく行っていた過去3年間は、他の感染症の流行も抑えられ、そのことから各種感染症に対する抗体保有率が低下している、また、2023年5月の上記分類引き下げにより、感染症対策が緩和されたこと等が考えられます。

例年は12月～3月にかけて流行するインフルエンザが、今年は春～夏にも、少ないながら発症者が絶えず、10月下旬から急激に増加中です。今後の感染対策のご参考にさせていただきたく、厚生労働省が挙げているインフルエンザの感染症対策をご紹介します。

⇒ [令和5年度インフルエンザQ&A | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#)の
[Q9 インフルエンザにかからないためにはどうすればよいですか？](#)
をご覧ください。

保健センター・保健室では学校医ならびに看護師が健康相談に対応しています。お気軽にご相談ください。[D棟1階]

